

2013年  
(平成25年)  
月刊 18号  
11月18日  
(月曜日)  
発行:大船中央病院  
知りたい委員会2013

## 大船中央病院消防訓練

平成二十五年十一月八日(金)に、当院で大規模な消防訓練が実施されました。みなさんは常日頃から火事・災害についての心構えは出来ていますでしょうか? 非常階段の場所、消火器の設置場所、避難方法、防災具など... 知っている人と知らない人では、その現場を目のあたりにした際の行動が命にかかわることになるかもしれません。

「備えあれば憂いなし」との言葉の通り、当院でも年に2回の消防訓練を実施し、万が一起きた場合に備え、火事や災害についてしっかり勉強し、知っておくことが大切なのではないかと思えます。

### 「訓練概要」

東館5階より火災発生し、消防署へ連絡。消火器などを使用し初期消火活動を実施。実際の非常ベルを鳴らし、入院患者を中央の階段へ集め待機させ、逃げ遅れた患者に対してラセン避難器具により避難する。患者・職員避難状況を防火管理者へ連絡。逃げ遅れた5名がいることを消防隊へ報告。報告を受けた消防隊は、はしご車にて患者救出へ向かう。救出患者を対象にトリアージ訓練も実施する。逃げ遅れた人員も含め、全員の安全を確認。最終報告を防火管理者へ連絡。最後に消防署長からの訓練の反省点などの指導を受け、訓練終了となりました。

「訓練当日の様子」  
訓練当日は鎌倉消防隊員が40名も応援に駆け付けていただきました。また当職員も33名が訓練に参加し、大規模で実践さながらの訓練になりました。



### 「火事・災害を常日頃から想定しておこう!」



大船中央病院  
消防訓練中より



鎌倉消防  
保有37m級  
「はしご車」



鎌倉消防の放水による消火活動

訓練時に1番目に付いたのが、鎌倉消防で管理している「はしご車」でした。何がビックリしたのかというと、なんと長さが37mまで伸びるということなんです。これを解りやすい建物に換算すると、天井の高さがマンションとオフィスビルでは違うので一概には言えませんが、マンションでは13階相当、オフィスビルでは10階相当になるそうです。鎌倉の大仏で例えると、大仏は台座を含め約13mあり、大仏3人分程度の高さまで伸ばすことが出来ます。いかに大きいはしご車だということが解っていただけでしょうか?

### 「鎌倉消防のはしご車は こんなに大きい!」



鎌倉の大仏3人

=

鎌倉消防のはしご車



鎌倉消防のはしご車は、鎌倉の大仏の3人分の高さ(約37m)まで届くそうです!



13.35m



### 「もし火災に遭遇したら?」

私たちが1年間のうちに火災により罹災する確率は、わずか0.1%以下。30年間における発生確率でも1.9%にすぎません(地震調査研究推進本部地震調査委員会の資料による)

火災というのは人の一生のうち、ほとんどの人が遭遇することは無いのかもしれませんが、もし遭遇した場合の対処方法として消防庁のホームページより3つの指針を抜粋しましたのでご紹介致します。



- 日頃から火災が発生した場合に備えて避難ルートを確認しておきましょう。
- 火災報知設備の警報を聞いたときは、状況を確認するとともに、速やかな行動を心がけましょう。
- 煙が部屋や廊下に充満してきた場合は、ハンカチやタオルなどで口・鼻をしっかり覆い、煙を吸わないよう姿勢を低くして避難しましょう。
- 火事が起こったらどう対処するのか? 今回の消防訓練を活かし、いざという時に迅速かつ的確に判断し動けるよう、頭の片隅に置いて置くといいのではないかと思います。